

# 地域おこし協力隊“奔走中”

昨年の5月に地域おこし協力隊として採用され1年が経過し、りんご栽培の1年間のサイクルを経験することができました。まだまだ分からないことが多く、知識も経験も未熟な状態なので、これからもいろいろ学んでいきたいと思えます。

現在は管理する方がなくなったりりんご畑を任せられています。以前管理されていた方は高齢でなかなか細部にまで手が行き届いていなかったようで、剪定する枝が多く、また腐らん病にかかっている樹も多くあり、剪定に時間がかかりました。今後は摘果作業を夏までに終わらせなければならないので頑張って作業をしていきます。

だんだん暑くなってきて作業も大変になってきますが、うれしい誤算がありました。それはりんご畑の中にアスパラガスが生えてきたのです。(鳥が種を運んできて生えることがたまにあるそうです)初めて見たときは「なぜ?」と戸惑ったのですが、美味しくいただきました。



● 農業振興担当  
芳野 昇です。

## 町のデジタル化推進に向けて (デジタル化推進専門官 渡邊保)

企画課

着任から2か月が経過しました。立科町をより理解するために、ゴールデンウィーク中はバスや自転車で立科町を駆け回っていました。林檎の花に感動し、蓼科牛に舌鼓を打ち、小川のせせらぎに癒され、立科町を思う存分に感じる事ができたかなと思います。

この体験をしたうえで「立科町にはどのようなデジタル化・ICT化がふさわしいのか」を考えながら、立科町役場の職員のみなさんに業務課題や未来像をお聞きしました。また、これまでに住民のみなさんから寄せいただいたご意見なども詳細にお調べしました。

立科町のためのデジタル化とは何か、将来にわたり長く続けられる取り組みや人材育成はどのようにするかなど、想いを巡らせております。

これから職員のみなさんと一緒にデジタル化推進に向けた計画を立ててまいります。住民のみなさんにもご意見を伺いながら求められるデジタル化の実現に向けて邁進してまいります。……

